

～発掘調査から見える我が町の縄文文化～

文化講演会 (参加無料)



黒沢地内に所在する縄文時代晩期(約2500年前)の「材木遺跡」からは、緑色の石材(緑色石英)を用いた勾玉等の装身具が数多く採集されてきました。現地石材を用いた装身具製作事例は全国的に珍しく、令和5年に本遺跡での玉づくりの痕跡や実態を明らかにすべく、研究者らによる学術調査が実施されました。その成果について是非皆様にもお聴きいただければ幸いです。

期 日

令和6年12月14日(土)

14:00～15:30(受付13:30～)

場 所

最上町中央公民館 大ホール

講 師

**明治大学 黒耀石研究センター
栗島 義明 氏**

演 題

**「最上町材木遺跡の調査
—東北地方初の装身具製作遺跡の発見—」**

お申し
込み

※希望者は生涯学習室(☎0233-43-2350)まで
お電話ください。〆切は12/10、先着80名様まで!

主催：最上町 最上南部3町村縄文文化発信推進協議会

